

ねりとう GOLF

練馬稲門会ゴルフ部会会報

2016年冬号

Vol.17

§ 毎年恒例の練稲ゴルフ部会総会兼忘年会開催 §



(2015年12月3日 於:「茶平」)

昨12月3日、同日開催の12月度月例コンペの表彰式を兼ねて“総会&忘年会パーティー”を区内桜台の中国料理レストラン「茶平」で開催。総会では、戸津川部会長の挨拶に続いて、高崎幹事長から「天候不良時の対応」「会計報告の承認手続き」「幹事人事」についての提案があり拍手で承認されました。その後は懇親会に入り、ゴルフ談義やニューイヤーコンサートの話題などで大いに盛り上がりました。また、席上3名の新入会員の方が紹介され一人ずつ抱負などを語っていただき、最後は会員の健康と会の発展を祈念して一本締めで散会しました。



◆平成27年後半を振り返って

ゴルフ部会 部会長 戸津川隆久

まず挙げたいのは、私的なことではありますが久しぶりに優勝できたことです。11月優勝、12月3位と好成績を上げられたのも普段の練習の成果であり、やはり継続は力なりだと感じたシーズンでした。また、悪天候時の対応について考えさせられることもありました。個人的な常識ではプロの試合と同様にコンペの場合よほどの悪天候以外はプレーするものと考えておりましたが、参加者の年齢を考えると(後期高齢者が40%)再考の余地ありと思い常任幹事会で運営規則を作り、ご提案させていただきました。さらに考えさせられたのは、組合せ作成後のキャンセル発生により組替えが多かったことです。体調不良等により仕方がないことではありますが今後の心配事の一つになりそうです。なお、新入会員も増え毎回30名前後の参加者があり運営側としては最適な人数と考えており、会員の皆様には感謝しております。平成28年度も幹事一同皆様の意見を反映させながら会の運営に努める所存ですのでご協力の程よろしく申し上げます。

第4回「ねりとうゴルフ交流塾」を2/24(水) 学園ゴルフセンターで開催！！
※詳細は5頁の「幹事会だより」をご覧ください

平成 27 年度後半月例コンペ成績

◆9 月度(第 157 回)月例コンペ

[個人成績]

9 月 25 日 (金) / 雨 18℃
高麗川カントリークラブ

優勝 根岸 周平 氏 (S53・法)

優勝	根岸 周平	74.3 (88-13.7)
2 位	山口 豊隆	77.0 (90-13.0)
3 位	西水流 富男	79.2 (104-24.8)
ベストスコア	越智慎二郎	84 (41+43)



9 月度コンペに優勝して

9 月度例会で初優勝させて戴きとても感激しております。

私は現在ゴルフ場勤務で、仕事柄コンペに出る機会も多く、優勝経験も少なくないと思っておりました。しかし吉田大先輩や中島前部会長に誘われて随分前に入会した本会だけは、ほぼ皆勤にも拘らず、お上手な方が多くレベルが高いため全く優勝に手が届かずにおりました。現職場で 9 年目に入り、いつの間にかゴルフに臨む姿勢がよい加減になっていたのかも、これではゴルフの神様に叱られると猛省。還暦を機に、初心に帰り真面目に取り組もうと心を入れ替えたタイミングで念願の優勝が叶いとても嬉しく思っております。(ゴルフの神様、有難うございます)

とてもお元気な先輩方を沢山拝見し“健康の秘訣はゴルフ”と確信しておりますのでこれからも長く参加させて戴くつもりです。最後になりますが、いつも高坂カントリーをご愛顧戴き大変有難うございます、引き続き今後とも宜しくお願い致します。

∞ ・ ∞ ・ ∞ ・ ∞ ・ ∞ ・ ∞ ・ ∞ ・ ∞

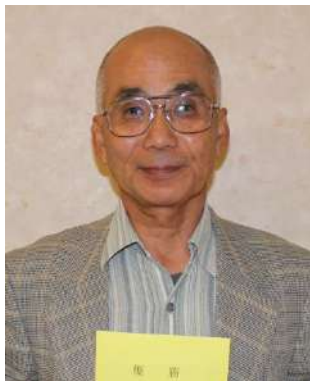
◆10 月度(第 158 回)月例コンペ

[個人成績]

10 月 16 日 (金) / 曇り時々雨 15℃
鳩山カントリークラブ

優勝 小林 康孝 氏 (S47・文)

優勝	小林 康孝	74.6(89-14.4)
2 位	三宅 成嘉	75.8 (101-25.2)
3 位	栗原 英明	79.2 (104-24.8)
ベストスコア	小林 康孝	89 (44+45)



4 年ぶりに優勝しました

昨年は大変な年でした。1 月の初めに三度目の尿路結石が再発し、その影響から仮性うつ病になってしまいました。さらに不眠症も重なり、睡眠薬がないと眠れなくなり体調も最悪でした。何もする気(ゴルフもです)がなくなり、家に閉じ籠もり状態でした。これではダメだと考え、妻の助言もあり、散歩から運動を始めました。

すると徐々に体調も回復し、4 月からは以前からやっていた朝のクラブ振りも再開しました。さらに光が丘公園でのランニングやウエイトトレーニングもやるようになり、ようやく体調が戻ったのは 9 月

でした。

さて、9 月の高麗川大会にも参加し、雨中の 18 ホールをやっと回りました。そして 10 月の鳩山大会です。44、45 と可もなし不可もないスコアでしたが、これで優勝と聞きビックリです。何にでも興味をもって行動することが人生(65 歳過ぎの)に大切だと確信しました。

★ ねりとう GOLF は生涯スポーツ ★

◆11 月度(第 159 回)月例コンペ

11 月 17 日(火) / 晴れ時々曇り 17℃
入間カントリー倶楽部

優勝 戸津川 隆久 氏 (S39・政経)

[個人成績]

優勝	戸津川隆久	72.6 (87-14.4)
2 位	小林 康孝	72.9 (83-10.1)
3 位	牟田龍一郎	73.0 (85-12.0)
ベスト	小林 康孝	83 (45+38)



11 月度コンペに優勝して

思いがけなく 11 月のコンペで優勝することができました。1 年前にハンデの改正が行われて以降、毎回目標としている 90 を切ることができず最近では飛ばない、寄らない、入らない、の 3 無の状態に陥り気が減入っていました。先日、練習場で大堀さんに話した所、この年齢になれば「ゴルフが出来て、会話が出来、健康にも良く、ボケ防止になる」と思えばそれで十分ではないかと言われ、気が楽になりました。

ツキも実力のうちと言われますが、今回はスタートホールでトリになりそうな所がチップイン、ボギーで上がったのが勝因のような気がします。その後はボギーペースでダボがなくパーは 3 個でしたがやっと目標としていた 80 台で回れホットしておりますか優勝できるとは夢にも思っていませんでした。継続は力なりと言いますが、努力していればたまにはご褒美があるものと今後も練習を続けたいと思います。

今回の同伴者、剣持さん、広瀬さん、田辺さんには、リラックスして気分よくラウンドできたことを感謝致します。



◆12 月度(第 160 回)月例コンペ

12 月 3 日(木) / 晴れ 12℃
石坂ゴルフ倶楽部

優勝 武田 幸雄 氏 (S44・政経)

[個人成績]

優勝	武田 幸雄	74.8(91-16.2)
2 位	高崎 龍介	76.3(91-14.7)
3 位	戸津川隆久	76.9(87-10.1)
ベスト	越智慎二郎	82 (41+41)



12 月度コンペに優勝して

練稲ゴルフ部会へ入部した時からご指導いただいている高崎さんから、「12 月はホームコースの石坂 GC だよ！」とのお声掛けがあったため、日程を調整して月例会に備えていました。高坂 CC での 150 回記念大会以来の参加で、優勝の二文字は全く頭にはありませんでしたが、同組の長野さん、大堀さん、小島さんは腕前もマナーも確かで、和気あいあいの雰囲気初の栄誉をもたらしてくれました。忘年会を兼ねた「茶平」で配られた成績表には実力者の高崎さん、戸津川さんが後に続き、ハンデにも感謝の思いです。

石坂 GC はグリーンが難しいと評判が悪く？私も苦勞するばかりですが、9 月の月例会で久しぶりの入賞を果たし、平成 27 年はゴルフでの喜びが重なった年でした。運営に携わる部長はじめ役員の方々にはお世話になるばかりですが、ゴルフの際に往復をご一緒する高崎先輩との車中会話は楽しく、機会を増やさなくてはと思っています。

★ ねりとう Golf は 健康 第一 ★

//////////////////// 会 員 サ ロ ン //////////////////////

我流ゴルフ

利根川 洋一 (S35・政経)



私がゴルフを始めたのは50年ほど前である。ゴルフに行く前日は子供の遠足の前日のように興奮し寝つきが悪かった。打ち初めは相武カントリーでスタートホールティーショットを2度空振りし、顔から火の出る思いをしたことを今でも鮮明に覚えている。当時はゴルフ人口が多くホール毎に待たされ、ハーフ3時間を超えることもあった。ゴルフに対する興味は尽きず日曜日は必ず練習に行き、手にマメを作った。練習の成果かスコアもアップしベストスコアは74で、イーグルも何回かあった。当時はワンハーフが当たり前で、ゴルフ場も気を利かせ9番、18番ホールには照明塔のあるところもあった。ゴルフは人に教わることはなく我流で通した。

現在はゴルフに対する興味は薄れ、プレー回数は年間10回程度である。身体は容赦なく老化していくので、毎日ウォーキングすることで老化を少しでも先延ばししようとしている現状である。

ルーティーンを大切に

大堀 博之 (S39・商)



ゴルフは全てのショットの前にルーティーンしてもいい珍しいスポーツです。俊足も反射神経も必要無く、機械のように正確なスウィングが求められますから、いつも決まった手順で同じ動作をして、イメージを作ってからショットをするようにしたいものです。

私のゴルフ仲間には北見美知子さんという女性がいました。彼女はドライバーの飛距離が180ヤードでしたが、嵐山カントリーの理事長杯で6回のマッチプレーで腕自慢の男性達をねじ伏せ、とうとう優勝してしまいました。その時彼女は「私は不器用だから優勝できた」と言っておりました。不器用だからルーティーン通りのプレーをしたということでした。

加えてルーティーンを調整することも必要です。気候や地形の変化を読んで調整します。アプローチやパッティングではその重要さが一層増します。ルーティーンしながら、球の飛び方、転がりをイメージしてスウィング出来れば、あなたのゴルフは確実に階段を上がれます。70歳、80歳になってもまだまだ上達できるのが「ゴルフ」ですよ。

「ゴルフを見る目」でお役に・・・

地平 達郎 (S47・政経)



1972年に産経新聞社に入社し、運動部の配属となった。ちょうどゴルフ界に青木功、尾崎将司の二大スターがデビューしたところでゴルフ担当記者が足りない。すぐさまゴルフ担当に決まった。

それからは、国内外の試合を取材することになり、1年のうちの約三分の一は出張という生活になった。ならば、ゴルフの腕前もさぞかし……と思われがちだが、そうはいかない。水曜日から日曜日まで取材出張。月曜日が休みで、火曜日は次の出張の準備。ゴルフがない時はサッカーやバレーボール、水・陸など、他の競技の取材に駆り出される。練習場に行く暇がないので、うまくならない。全盛期の樋口久子プロとラウンドした時に「新聞記事だけ書いていたほうがいいわね」ときつい一言ももらった。

今回、ゴルフ会の幹事をおおせつかった。ゴルフを見る目だけは養われているようなので、少しでもお役に立てれば幸いである。

私のゴルフスタイル



野口宏幸 (S52・法)

練馬稲門会ゴルフ部に入会してから、1年が経ちました。今は週5日働いているので参加率も5割程度と低迷していますが、これから参加率を上げていきたいと思っています。

私がゴルフを始めたのは、25歳(36年前)のときで、職場の友人から道具を買い替えるので言い値で引き取れ、と言われたのがきっかけでした。以来、小さな球を思い切りひっぱたくと、信じられない程遠くに飛んでいくのが楽しくて、バーディもあるが二桁もしょっちゅうというスコア二の次のゴルフに明け暮れてきました。なので、上達という言葉とは今もって無縁で、実力は下手のままです。

還暦を過ぎてから球が飛ばなくなり始め、それをきっかけに、一打一打を大切にすする本来のゴルフが徐々にできるようになってきました。すぐ身につくものではありませんが、小技が冴えているねと言ってもらえるようなゴルフを追求していければと思っています。



幹事会だより

◆『ねりとうゴルフ交流塾』を開催

昨年7月26日、8月20日の両日、お互いに学び合いながら楽しく交流する場として、「ねりとうゴルフ交流塾」を大泉町の学園ゴルフセンターで開催しました。当日は、学園ゴルフセンター所属の五十嵐瑞江プロによる練習器具を使つての模範スイングに見入ったり、フォームづくりのアドバイスに熱心に聞き入りながら2時間の交流を楽しみました。

この「ねりとうゴルフ交流塾」は去る1月17日にも第3回が開催され、来る2月24日(水)には第4回が開催されます。会場は同じ学園ゴルフセンターで時間は9:15~11:15です。この機会を会員交流と技術向上に是非お役立てください。



◆ハワイ稲門会40周年記念パーティーに練馬稲門会ゴルフ部会から6氏が参加



昨年9月1日、ハワイ稲門会が設立40周年を記念してパーティーとゴルフ懇親会を開催。パーティーは名門ワイキキ・ヨットクラブ、ゴルフ懇親会はハワイプリンズGCで行われ、当ゴルフ部会から戸津川部会長、栗原副部会長、小松袈伴・温子ご夫妻、大堀博之・静子ご夫妻の6氏が参加、練馬稲門会の存在と活動をアピールしました。

パーティーでは、林英樹ハワイ稲門会会長の挨拶と鎌田薫早稲田大学総長の来賓祝辞があった後、ハワイ稲門会女性率いる本場フラダンスの熱演、東京から参加したナレオ稲門会ハワイアンバンドの演奏などがあり、終始賑やかに交流。最後に応援部OGリードによる「紺碧の空」、「早稲田の栄光」、「都の西北」を斉唱し、稲門メンバーとして共感に浸るひと時を過ごしました。

◆地平達郎氏(S47・政経)が新たに幹事に就任

昨年からゴルフ部会は戸津川部長の下、新体制で運営されてきましたが、このほど幹事の青山和雄氏が体調不良のため退任し、新たに地平達郎氏が就任することになりました。それ以外の幹事は現任のまま、全12名体制で運営されます。

◆中島晴喜氏 (S33・商) がエージシュートを達成

前ゴルフ部会長の中島晴喜氏が、昨11月6日にホームコースの小川CCでシニアゴルファーの目標であるエージシュートを達成しました。

中島氏のコメント：当日は気温23度で快晴微風の絶好のコンディション、前半40、後半39の79ストロークでホールアウトしました。記録に気付いたのは最終ホール終了時点でさほど達成感はありませんでしたが、クラブからの「達成証明書」を受け取った時点で改めてその達成感が湧いてきました。ゴルフを始めて52年、ゴルフを続けてきたのはこの事のためではないかとも思われます。これからも健康の許す限りゴルフプレイを楽しみたいと思っています。(写真は「達成証明書」を持って喜びの中島氏)



〔 会計報告 〕 平成27年7月～12月 (6カ月間)

単位：円

収 入		支 出	
1. 会費 (月例4回、忘年会)	409,500	1. 賞品・パーティー代 (4回)	364,740
2. チャリティー (4回)	52,900	2. 会報誌発行費	43,980
3. 事務局よりの補助	70,000	3. 雑費 (事務用品・通信費等)	62,000
4. 雑収入 (キャンセル料等)	7,000	4. 交流塾引当金	80,000
5. 前期からの繰越し	117,469	5. 次期への繰越し	106,149
合 計	656,869	合 計	656,869



★ 平成28年度前半 (3～6月度) 月例会予定表 ★

月度 (通算回数)	期日 (曜日)	開催コース
3月度 (161回)	3月30日 (水)	日本カントリークラブ
4月度 (162回)	4月19日 (火)	入間カントリー倶楽部
5月度 (163回)	5月20日 (金)	高坂カントリークラブ
6月度 (164回)	6月17日 (金)	武蔵 OGM ゴルフクラブ

※会員各位は日程をご確認いただきスケジュール表への記入などをお願いします。



編集後記

昨年後半は月例会の他にも会報に掲載したい様々なイベントがありました▼まずゴルフ交流塾ですが、月例コンペのない月に部員同士の交流を深めながら五十嵐プロからレッスンを受けてレベルアップを目指そうと昨年からはじめました。好評につき今年も続けております。また、中島さんのエージシュート達成はまさに中高年ゴルファーの励みになるニュースでした。そして9月にはハワイ稲門会40周年記念パーティーに6名が参加しました▼さらに、11月に校友会のゴルフコンペが久邇カントリーで開催され、我が練稲ゴルフ部からも8名が参加し多くの稲門会メンバーと懇親を深めました。このイベントは紙面の都合で掲載できませんでした▼前号から始めた「会員サロン」では4名の方々からご寄稿頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます (宇根記)

- * ねりとうGOLF2016年冬 Vol.17 発行日：平成28年1月31日
- * 発行：練馬稲門会ゴルフ部会 電話：03-3994-8212 FAX：03-3994-8219
- * 編集：宇根 等 栗原 英明 越智慎二郎
- * 印刷：(有)ヒイラギ堂 電話 = 03-3933-9591

